

<p>タカノツメ</p>	<p>学名 Evodiopanax innovans 別名 イモノキ</p>
<p>＜鷹の爪＞</p>	<p>分類 ウコギ科タカノツメ属（落葉高木） 分布 北海道（南部）、本州、四国、九州、朝鮮 用途 薪炭、箱、箬、楊枝、経木、マッチの軸木</p>
<p>解説</p>	<p>山地に生え、高さ5～15mになる。材はやわらかく、樹皮は灰褐色でなめらか。葉は3出複葉だが、単葉2小葉のものもまじる。葉柄は4～15cm。小葉は長さ5～15cmの楕円形で質は薄い。秋に黄葉する。5～6月、黄緑色の小さな花が多数集まった散形花序を繖状につける。花弁と雄しべは5個。花柱は2裂する。果実は直径約8mmの小形の球形で黒く熟す。</p>
	<p>枝・葉</p>
	<p>幹</p>
	<p>花</p>
	<p>実</p>